



『あ〜いい温泉だった』も良いですが

『予想通りのいい温泉だった』も良いですよ？

## 予想入浴法のススメ



全国の温泉には、泉質に個性がありますよね。

私は、温泉に入る前にある行動をして、予想入浴(期待)を楽しんでいます。

ある行動とは、入浴前に『温泉分析書』を見ることです。

『温泉分析書』にある ① 濃度 ② 重量 により、肌がどう感じるを

入浴前に予想します。そして、入浴時間を予想します。

私はこの入浴法を『予想入浴法』と勝手に命名しています。

(その1) 『温泉分析書』は、食事を注文する際のメニューと考えてみよう。

『温泉分析書』は、どこの温泉入浴先でも必ず見かけます。

ここで『温泉分析書』をメニューに置き換えると

① 源泉温度 ② 湧出量 ③ PH値 ④ 適応症(温泉効果)などは、比較的、見て直ぐ理解ができます。

『温泉分析書』には、成分などを数値化した表があり、このメニュー部分が無視される方が多いようです。この表の意味が分かると、(予想入浴)がしたくなります。

◎ 1Kg中の成分・分量及び組成を4つに区分し数値化された表。

(1)陽イオン (2)陰イオン では、約10種類のイオンが次の区分で表示されています。

成分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
----	-------	------	-------

(3)遊離成分 (4)溶存ガス成分には、ミリバルとミリバル%が数値化表記あり。

(1)~(4)のミリグラムを合計した、溶存物質総量を書いてあります。

この表を簡単な理解法があります。

ミリバル	は、温泉のイオン濃度。
ミリバル%	は、温泉のイオン濃度を%表記することで見やすくなっています。

さて、温泉の泉質名はどうやって決まるでしょう？実はイオンの濃度%がポイントです。

温泉の泉質名は、陽イオンミリバル%の1位と陰イオンミリバル%の1位を採用します。

温泉分析書、泉質名の見方が分かったところで次に行きます。

## (その2) 私が予想入浴法のために、温泉分析書で最も注目していることは？

温泉分析書には、濃度以外に重量も表記されています。(4項目)

(1)陽イオン (2)陰イオン (3)遊離成分 (4)溶存ガス成分

この重さは、ミリグラムで表示されています。

なお、この4つのミリグラムを合計した数値を『溶存総量数値』といい、

この溶存総量数値が2000mg以上だと、私は『濃い温泉』と肌が感じます。

しかしこの総量が2000mg以上の温泉は、中々ありません。

普通の温泉は、総量200mg前後ですよ。(道後温泉の総湯でも約200mg)

(日本温泉協会がオール5と判定した温泉は、2000ミリグラム前後です。)

## (私の予想入浴法) 湯当たりしない温泉入浴のために

日帰り入浴を楽しむ旅行では、湯当たりをしないようにしないといけません。

『溶存総量数値』の数値1500mg以上源泉掛け流し温泉は、入浴時間が重要。

湯当たりをしないためには、温泉温度をと重量から予想をします。

① 超熱い温泉(44度以上)には、一回1分程度の入浴。(あとは、かけ湯のみ)

② 熱い温泉(38~43度)には、一回3分程度の入浴。(2セットとかけ湯)

③ 不感温泉(35~37度)には連続20分程度の入浴。(3セット通算1時間)

④ むる湯温泉(30~34度)には連続30分程度の入浴。(4セット通算2時間)

入浴時間を短縮する場合 → A 岩盤湧出 B 『溶存総量数値』2000mg 起

入浴時間を延長する場合 → C 炭酸水素イオンの重量が大きい場合



### 入浴温泉①~④の例

① 箱根(うばこ温泉)・奥会津(とくさ温泉)

② 群馬(法師温泉)・山形市(どめき温泉)

③ 山梨(正徳寺温泉)・奈良(しおのは温泉)・福島県(甲子温泉)

④ 山梨(しもべ温泉)・鳴子(農民の家)

### その他 驚愕の温泉成分を持つ温泉

○多温度温泉・山梨(ますとみ温泉)・那須(鹿の湯)

○超重量級(溶存物質総量)1万mg近い 山形(どめき温泉)

○超炭酸温泉・大分県(ラムネ温泉)

万代つばさグループ代表  
発行者 八百板 誠

( 税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士 )  
( 八百板誠行政書士事務所 )

事務所 : 新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地 (8階建の1階奥です)

025(228)4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者(当事務所)がこれを保証するものではありません。